

令和6年度議会報告会 インターネット経由で寄せられた意見

No.	意見の内容
1	現状の22名は妥当。 ただ、将来の人口減少に合わせて、人数を削減する方向性が見えていけば、今のうちに少人数で出来るような仕組みを考えていく必要がある。
2	これからも人口減少が続くので。議員数は20名が良いと思います。
3	今後の人口減少、歳出削減の必要性などから勘案して、20人が妥当と思います。
4	一般質問の内容を見ると、本当に三島市の将来を真剣に考えている議員は少ないと思います。なので、議員定数は減らしてもよいと思います。 将来の人口減少などを考えて最高でも20人で良いのではないのでしょうか。
5	三島市の人口は、11万人もいない。現在22名の市議会議員がいるが、11名でもいいと思う。 普通に生活していて、市議会議員に接する事は、ほとんどない。 一般の人より充分にもらっていると思うが、議員報酬が月に40万円位じゃ足りないと感じたり、議員の妻で、期限が決まっているものを期日を守らないとか。こんな妻をもつ議員は大丈夫なのかと思ってしまう。11人に減らすのは難しいのかと思うが、もっと減らしてほしい。
6	最低でも 現状維持もしくは増やす。 市長の方を向くのではなく、市民の方を向いてきちんと意見を取り上げてくれる議員を増やしてほしい。 先生と呼ばれて本来あるべき姿を見失っている議員が多いのではないかと思う。 市民の暮らしを見て、自らも学び、議論できる市民の代表であってほしい。 議会で居眠りしたり、発言せずに終わるなど言語道断レベルが低すぎる。
7	今年度も含めて、何回か議会傍聴をしました。 議員の皆さんの質問は、ほとんどは地域の声を誠実に市政に反映しようとしていると感じました。 市民の声を反映させ、行政のチェックでもある議員は、これからももっと必要です。 本来ならばもう少し議員が多くても良いとは思いますが、三島市の人口規模で言うなら、議員定数22名は妥当であると思います。現状維持の議員定数を求めます。
8	現在の三島市の議員定数は県内の同様市と比べても平均値であり、現時点での議員定数削減並びに変更の必要はないと思います。 今後の人口減の見通し、議員の歳費抑制などが検討材料とされているように思いますが、今後駅前再開発に伴うマンション建設も具体化され、人口減ではなく人口増も含めて検討されるべきだと思います。 歳費については月41万は妥当だと思いますが、特別手当額については検討の余地ありです。市民感情としては41万の14ヶ月で妥当ではないかと思っています。(夏・冬 のみ1ヶ月分加算) 社会保険料に相当すると思われる議員共済給付負担金も、歳費額に伴い減少し1人約100万、議員数22名で2200万(議員2人分)の歳出減につながります。北欧では議員は市民の多様な意見の代弁者として、半分ボランティアとしての手当だと統治で伺いました。長期的な見地からの検討をお願いします。
9	議員定数削減の主な問題は、議員さんが何をしているか分からない。市民の為に働いていると思える議員が少ない。住民の意見を吸い上げている議員が少ない。などの市民感情が有ると議員削減してほしいとなる。基本は議員が働いているか見えないのが現状である。議員はもっと自分の活動を発信すべき。 統計等の数字上から言えば、20名でもやっていけると感じる。 平成23年地方自治法で議員定数の上限が廃止になった。それまでは人口10-20万人では34人としていた、したがって総務省は10万人では17人でも大丈夫と考えていたことになるので、ミニマム17名でも可能となる。 議員定数の削減だけでなく、新しい庁舎での議場の簡素化を進めてほしい。 また女性、若者が少ない、地域格差が有るなどの議会の問題を解決するために選び方等の仕組みを検討する必要があると感じる。
10	地方自治は民主主義の学校と言われております。市民の声を市政に届ける重要な役割が市議会議員にはあり、そのためには市議会議員の存在が身近である必要があります。 したがって、何人が適正な定数かは他自治体なども参考にするとはいえますが、単に行政改革を理由に定数を削減することには、民主主義の観点から反対します。
11	現状の三島市民人口減少は、法律制定されなければ(外国人などの出入国管理法、移民政策の積極的受け入れ推進など)人口増はありません。よって将来的には市民税等のさらなる減収が進行されます。議員定数は、従いまして、それに連動して削減し少数精鋭な議員活動をしていただきたいと考えます。充実した議員活動をサポートするために議員報酬の増加も併せて実現させて市民の生活向上のための活動を積極的に進める市議会にしていきたいと思っております！！
12	三島市議会の定数は現状のまま、むしろ増やしたいと考えます。 二代表制のもと、今の三島市議会は議会の役割を果たしていると言えるでしょうか。 市長市側に対して、対等の立場で緊張関係を持ち監視し議論しようという議員は少数です。 市民の様々な要求や意見、困っている人の小さな声が議員まで届いているのか疑問です。市民に対する情報発信も不足しています。 市民の意識が多様化する時代には、専門的な知識を持った議員が求められます。 市民の人口が減り経費の削減が必要と言われますが、むしろ定数を増やした方が多様な意見や知識を持った議員が増え、今の停滞した三島市議会が活性化し結果市民の得るものは多いでしょう。 市民の声を聞き、日々知識を高め奮闘努力し手強い市側と議論しようという議員が増えなければ市政を監視チェックし政策を提言することはできません。 議会は改革したいのであれば、まず先に議員自らを改革し議員としての質を高めてください。 より良い三島市のために、三島市議会が議会のあり方を考え、その役割をしっかりと果たしていくことを期待します。 そのために市民として、市制を市長と議会に任せきりにすることなく、三島市のために頑張る議員さんたちを見守り応援しようと思っております。
13	新聞を読んで知りました。定数は20名で十分だと思います。報道では存在意義の低下が理由とありましたが、22名でないと存在意義が示せない理由が分かりません。